

2024年度
神奈川県私立幼稚園教育研究大会
湘南地区大会（要項）

大会テーマ

『ともに育ちあい 一人ひとりが輝ける未来を』

- 期 日 令和6年11月16日（土）
- 開催形式 オンライン研修
- 本 部 NPO 法人 藤沢市私立幼稚園協会

主 催 公益社団法人 神奈川県私立幼稚園連合会

茅ヶ崎市私立幼稚園協会 湘央地区私立幼稚園協会
(NPO 法人)
小田原市私立幼稚園協会 藤沢市私立幼稚園協会

後援 藤沢市

2024 年度神奈川県私立幼稚園教育研究大会

湘南地区大会

主催 公益財団法人 神奈川県私立幼稚園連合会
茅ヶ崎市私立幼稚園協会 湘央地区私立幼稚園協会
小田原私立幼稚園協会 NPO 法人 藤沢市私立幼稚園協会

大会テーマ 「ともに育ちあい 一人ひとりが輝ける未来を」

日 時 令和 6 年 11 月 16 日 (土)
【全体会】 10:00 ～ 12:00 (9:45 ～ 視聴開始)
【分科会】 13:30 ～ 15:30 (13:00 ～ 入室開始)

本 部 NPO 法人 藤沢市私立幼稚園協会
〒251 - 0024 藤沢市鵠沼橋 1-1-14 TEL0466 - 54 - 0711
JR 東海道線・小田急江ノ島線藤沢駅南口下車徒歩 5 分

予 定

9:45 10:00		12:00	13:00	13:30	15:30
準備	視聴 全体会 (開会式・記念公演)	食事休憩	入室	分科会	

【全体会】

オンライン・オンデマンド配信ともに YouTube 配信となりますので時間になりましたら下記の URL
又は、QR コードよりアクセスしてご視聴ください。

◆視聴開始 9:45 ～ YouTubeURL : <https://x.gd/z7uSG>



◆開会 10 : 00～
挨拶 大会運営委員長
公益社団法人 神奈川県私立幼稚園連合会会長 木 元 茂
大会実行委員長
NPO 法人 藤沢市私立幼稚園協会会長 池 田 清

◆閉会

◆記念講演 演題 「AI に負けない力」～非認知能力を育む子ども中心の保育～
講師 内田 伸子氏 (環太平洋大学教授/お茶の水女子大学名誉教授)
俯瞰図番号 E4
※リアルタイム受講、オンデマンド受講ともに受講後レポート提出をしてください。
11 月 16 日 (土) 12:00 ～ 11 月 30 日 (土) 22:00 迄

【分科会】受付入室開始：13:00～「氏名（幼稚園名）」で入室してください。

13:30 ～15:30

◆第1分科会：茅ヶ崎市私立幼稚園協会 俯瞰図番号 B3

「子どもたちが主体的に創りあげるあそびからの学び～自然・人間関係～」

<https://us06web.zoom.us/j/86521192921>

ミーティング ID 865 2119 2921

パスコード 473980

◆第2分科会：湘央地区私立幼稚園協会 俯瞰図番号 E5

「困っている子への対応 ～子どもへのまなざしとコミュニケーションスキル～」

<https://us06web.zoom.us/j/84140312337>

ミーティング ID: 841 4031 2337

パスコード: 4126

◆第3分科会：小田原私立幼稚園協会 俯瞰図番号 E4

「自然との関わりの中で子どもたちの関心（学び）に気づき・共感し・支えること」

～保育者の援助としての環境設定を考える～

<https://us02web.zoom.us/j/83272655849>

ミーティング ID 832 7265 5849

パスコード 011870

※各分科会終了後レポート提出してください。11月16日（土）15:30～11月30日（土）22:00迄

【Web 研修会受講にあたっての遵守事項】

- ① Web 研修会を受講できるのは、受講申込をした本人に限られます。本人の代わりに他人が受講してはいけません。
- ② 講義や資料のリンク先を他人に教えたり、SNS やブログなどで公開したりしてはいけません。
- ③ 講義を撮影、録画、録音、公開をしてはいけません。
- ④ 講義内容や配付資料を SNS やブログなどに公開してはいけません。
- ⑤ 配付資料の電子ファイルを受講に関わらない他人に送信したり、コピー配付したりしてはいけません。
- ⑥ 研修会では、パソコンで参加することを基本としています。スマホなどの携帯電話での参加はお避けください。なお、タブレットでの参加も可能としますが、当方で動作確認をしていません。資料のダウンロードができるかどうかは各自で確かめて研修に臨んでください。
- ⑦ zoom は常にバージョンアップをしますので、最新版へアップデートをしてお参加ください。
- ⑧ 研修会終了後のアンケートの質問事項に記入し、提出のない方は、スタンプを付与できません。



ご あ い さ つ

公益社団法人神奈川県私立幼稚園連合会
会 長 木 元 茂

ようやく新型コロナウイルス感染症の影響はほぼなくなり、様々な研修会がようちえん会館や各地区協会の会場において対面で実施できるようになってきました。

改めて申し上げるまでもなく、当連合会は県内の私立幼稚園及び私立幼稚園由来の認定こども園の約9割が加盟する県内唯一の責任団体です。当連合会が様々な事業を展開する中で、公益事業としての研究・研修事業は大きな位置を占めており、「幼稚園教育研究大会」はその成果を示すものとして、更なる充実が期待されております。

昨年8月の全県大会で、今後5年間の神奈川県連の教育研究の新しいテーマ『ともに育ちあい 一人ひとりが輝ける未来を』が発表されました。このテーマのもと、連合会に加盟する一つひとつの園が日頃からの園内研修や研究を積み重ね、日々の教育・保育実践を豊かにしていく中で、自らの保育を振り返り、明日への保育を展望することが教員の皆さんに求められています。幼稚園教育の専門家集団である先生方には、プロ意識を持ちながら、この大会に参加して頂きたいと思います。

一方、皆さんご存知のとおり急激な少子化は様々なところに影響を及ぼしています。各園の経営も厳しい状況とお察しいたしますが、当連合会の財政基盤も同様です。このため、令和5年度には連合会の組織や事業の見直しを行い、令和6年度から新しい組織・事業予算で運営することとなりました。県内5地区において開催される幼稚園教育研究大会への支援にも影響が出てきていますが、今後も5地区12協会の皆様からご意見を伺いながら事業の維持に努めてまいります。

さて、文部科学省の施策の中で現在力を入れていると思われるのは、「架け橋期の教育」だと感じています。これまでの幼保小連携活動をさらに進化させて、就学前の年長の1年間と小学校1年生の1年間の併せて2年間の架け橋期と位置づけています。園で子どもたちの興味・関心を大切にしておき、わくわくどきどきの保育活動を展開してきたのに、小学校に入学したら「考えないスイッチ」が入ってしまい安心して主体的な活動ができない場面が多いようです。新しいスタートカリキュラムに進化していることを理解していない保育者、教員、保護者がまだまだ少なくないようです。今後は地元の小学校の教員の皆さんと就学前教育を担う私たちと一緒にこの架け橋期のカリキュラムの実効性を高めるために、スタートカリキュラムの位置づけを再確認し、子どもが安心して自己発揮できる環境を整え、伴走していく必要があります。「幼児期の終わりまでに育って欲しい10の姿」を意識してせっかく園で培ってきた経験や知識を、小学校でゼロリセットするのはもったいないことです。小学校や保育園の先生方と積極的に交流する機会を作っていくことも大切だと思います。

今後も様々な研修・研究を通して先生方が自分を磨いていただき、子どもの力を信じて子どもが主体性を発揮でき一人ひとりが輝くことができるようご尽力いただくことをお願い致します。

最後になりましたが、本大会開催のためご準備に当たられました担当協会の諸先生方、ご支援を頂いた行政当局をはじめ関係各位に御礼を申し上げ、ご挨拶と致します。



ご あ い さ つ

NPO 法人 藤沢市私立幼稚園協会
会 長 池 田 清

湘南地区 4 協会の加盟各園の先生方には平素より本地区の次世代の子ども達の成長に寄り添い、身近でお支えを頂いておりますことに心より敬意と感謝を申し上げます。

2024（令和 6）年度湘南地区大会は、藤沢市私立幼稚園協会が主管となり、この度令和 6 年 1 1 月 1 6 日（土）にオンライン配信による開催となりました。茅ヶ崎協会、湘央協会、小田原協会の先生方のご協力とご理解をいただきながら、開催の日を無事迎えることができました。こうして新たな学びの機会を皆様に提供できますことを大変嬉しく思います。

「ともに育ちあい一人ひとりが輝ける未来を」が昨年の全県大会で示され、向こう 5 年の私たちの共通の研究テーマとなります。

「A I に負けない力～非認知能力を育む子ども中心の保育」の演題で内田伸子先生（IPU・環太平洋大学教授/お茶の水大学名誉教授/十文字学園大学名誉教授）にご講演を頂くご縁を今回頂戴致しました。快くオンライン配信による講演をお引き受け頂きました内田伸子先生に改めて感謝と御礼を申し上げます。

「少子化」「人口減少」「コロナ禍後の幼児教育」「年長と小学校 1 年生をつなぐ架け橋プログラム」「子ども誰でも通園制度」「10 の姿」など、今の幼児教育を象徴するキーワードは、ある意味で社会を映し出す鏡と言えます。施設類型も多様化し社会に求められる幼児教育の姿も大きな変化のうねりの中にあります。環境の変化がその役割や使命を大きく変えようとしています。

湘南地区という同じフィールドで幼児教育に関わる先生方にとってこの研修が日々の悩み事や喜びを共有する機会となり、そこから生まれる他者との繋がりや新たな気づきの機会となれば幸いです。そして幼児教育の「不易流行」を今一度見つめなおす契機となればとも。

本大会オンライン配信開催にあたり、記念講演の講師、内田伸子先生は主管協会・藤沢のわかふじ幼稚園・園長 秦野悦子先生（白百合女子大学名誉教授）にご紹介をいただきました。また、オンライン配信にあたっては鵠沼幼稚園・理事長 相原 威先生（現玉川大学教授）に様々な助言・知見を頂く中で開催の日を迎えることができました。感謝の念とともにご報告させていただきます。

全 体 会

記念講演

【俯瞰図番号 E4】



演題 「AI に負けない力～非認知能力を育む子ども中心の保育～」

講師 うちだ のぶこ
内田 伸子先生

IPU・環太平洋大学教授 / お茶の水大学名誉教授
十文字学園女子大学名誉教授

【講師プロフィール】

- ◆専門分野 … 発達心理学、言語心理学、認知科学、保育学
- ◆履歴 … お茶の水女子大学文教育学部卒、同大学院修了、
学術博士 (Ph. D. in Psychology)
お茶の水女子大学大学院教授、同大文教育学部長、
子ども発達研究センター長、お茶の水女子大学理事・副学長
2012 年～ 筑波大学常勤監事, 2019 年～現職
- ◆著書 … 『世界の子育て一貧困は超えられるか』(金子書房,2012),
『子どもの見ている世界—誕生から 6 歳までの「子育て・親育ち」』(春秋社, 2017)
『発達の心理—ことばの獲得と学び』(サイエンス社,2017)
『AI に負けない子育て—ことばは子どもの未来を拓く』(ジヤース教育新社,2020)
『想像力—生きる力の源をさぐる』(春秋社, 2023) 他多数
- ◆受賞歴… 国際賞・功労賞(日本心理学会 2016)、文化庁長官表彰受賞 (2019)
文化功労者(2021)、《叙勲》瑞宝重光章 (2023)他.
- ◆社会活動…NHK「おかあさんといっしょ」の番組開発・コメンテーター
ベネッセの子どもチャレンジの監修、しまじろうパペットの開発、
創造性開発の知育玩具「エポンテ」シャチハタとの共同開発、
絵本やことば遊び図鑑の企画・監修など

第1分科会

茅ヶ崎市私立幼稚園協会

【俯瞰図番号 B3】

『子どもたちが主体的に創りあげるあそびからの 学び～自然・人間関係～』

助言者	佐藤 康富	(東京家政大学)
司会者	秋山 宏美	(めぐみの子幼稚園)
提案者	秋山 宏美	(めぐみの子幼稚園)
記録者	相原 久子	(めぐみの子幼稚園)
記録者	花澤 みづほ	(めぐみの子幼稚園)

《 主題設定の理由 》

今回テーマに掲げた内容は、本園が大切にしている 子ども主体の保育から、あそびが子どもたち自身の学びにどのようにつながり、成長にどのようにつながっていくのかを考察し 日常にある自然物や、そこにまつわる人間関係にも研究を深めていきたいと考える。

また、昨今 身近にある自然物をつかってあそぶことを知らない保護者も増え、子どもたちが楽しんでいる自然あそびを、保護者の方々に話をし、おたよりでの発信や、SNS を利用しての情報発信をも幼稚園の役割であると考えています。

そして、自然体験をはじめとする さまざまな体験がしにくくなってきている 社会の中で、子どもたちがゲームあそびやデジタル機器のとりこになるのではなく、幼稚園のあそびを通して豊かな学びの体験へと導いていきたいと考え、研究を深めたいです。

研究するにあたり、東京家政大学教授の佐藤康富先生を助言者としてお迎えし、研究を深めていきたいと考えています。

《 研究内容 》

- ・あそびの中での人間関係の考察
- ・自然あそび 食べられる植物、草笛あそび
- ・失敗からの学び
- ・人間関係 他者のために何ができるかを考える
- ・自分たちで創りあげるあそび

『困っている子への対応』

——子どもへのまなざしとコミュニケーションスキル——

助言者	石田 望	(言葉の相談室こと・える)
司会者	岩崎 祥之	(伊勢原みのり幼稚園)
提案者	林田 伸吾	(伊勢原八雲幼稚園)
記録者	塚原 萌	(伊勢原幼稚園)
記録者	岩本 遥香	(伊勢原幼稚園)

《 主題設定の理由 》

昨今本園でも、会話が出来ない子や集団生活に入ることが難しい子が年々増えてきている。保育の現場では、対応の難しさに直面し保育の見直しを毎年行っている。今年度は発表ということもあり、以前からご縁があって講演会や園内研修でもお世話になっている言語聴覚士で言葉の相談室こと・える室長である石田望先生に園に来て頂いた。そこで、専門的な視点から子どもの見方やコミュニケーションスキルを学び、集団生活の中で困っている子への対応方法を実践した。

《 研究内容 》

まず、石田先生から【見方が変わると子どもが変わる】という演題の講演をしていただき、職員一同共通認識を持つことからスタートした。その中で集団行動が苦手な子への保育者の【まなざし】の大切さを学んだ。しかし、保育者にクラスの中で困っている子を今後どのように見ていくかを尋ねると【まなざし】ではなく参加した保育者のほとんどが【対応方法についての答え】となった。その結果を受け、保育者は、まず解決することを第一と考え、その子の【思いに目を向けにくい】ことがわかった。保育者は、子どもとの信頼関係を築くことは、重要と理解していたが、他者とコミュニケーションを取ることが苦手な子や1人遊びを好む子との関係を築くことに苦戦していた。その子を集団に入れようとしたり、注意することが増えてしまったり、その結果、子どもにとって先生は自分のことをわかってくれない人として現れてしまうことになっていた。

研修や実践を通していく中で、集団に入ることが難しい子は、他者に対してコミュニケーションを取ることが難しく、保育者も子どもとの距離を縮め難いことが分かった。そこで、石田先生の助言によって、【保育者のまなざしを、子どもの行動ではなく思いに目を向け、まず子どもの思いを聴くコミュニケーションスキルを実践】していくと、子どもにとって、自分のことをいつも分かってくれようとする先生として現れ、その後の行動に変容が見られた。

4回に渡って石田先生との研修会を通してコミュニケーションスキルの大切さに気づき、子どもとの関係を築く八雲オリジナルの実践シートも作成したので報告したい。本園では、子どもたちの思いを聴くことを心がけ、職員一同共通認識を持って、これからも実践していきたいと思う。

第3分科会

小田原私立幼稚園協会

【俯瞰図番号 E4】

『自然との関わりの中で子どもたちの関心（学び） に気づき・共感し・支えること』

——保育者の援助としての環境設定を考える——

助言者	山下 久美	（東洋英和女学院大学講師・附属かえで幼稚園園長）
司会者	小室 久仁子	（花園幼稚園）
提案者	加藤 里奈	（城山幼稚園）
提案者	剣持 麻衣子	（華綾幼稚園）
記録者	大野 瑠季	（浅野記念御濠端幼稚園）
記録者	下田 美江	（花園幼稚園）

《 主題設定の理由 》

子どもたちを取り巻く環境は、まだまだ自然が豊かに存在しているが、気付かずに過ごしてしまうことも多く、保育者が仲立ちとなって自然と触れ合う機会を作っていく必要があると感じている。保育者の中には、自然と触れ合うことを苦手とする者もいる。自然との関わりを通して、子どもたちも保育者も共に感じ、学ぶことを考えていきたい。

《 研究内容 》

それぞれの園で自然と関わる事例（昆虫の観察・飼育、植物の栽培など）を取り上げ、子どもたちが何を学び、感じているのか、また、そこに関わる保育者の援助の仕方を考察した。

加えて、1・2回目は、研究部員の所属する園を見学し、園庭や園の近くにある植物を保育にどう生かすのかを学んだ。3回目は、琵琶の葉を使った染物をし、自然と関わる遊びを体験した。

～～～ 2024年度 大会運営委員 ～～～

運営委員長	(公社) 神奈川県私立幼稚園連合会会長	木元 茂 (白幡)
運営副委員長	(公社) 神奈川県私立幼稚園連合会副会長	石井 和則 (認定こども園はらのこ原)
	同	田中 伸宜 (綾南)
	同	池田 清 (ふじがおか第二)
	同	石渡 宏之 (江川)
	同	武藤 薫子 (聖和学院)
運営委員	(公社) 神奈川県私立幼稚園連合会総務部長	鈴木 豊司 (認定こども園横須賀)
	同 財務部長	藤田 聡 (潮見台みどり)
	同 振興部長	仁藤 一成 (川崎こまどり)
	同 ガバナンス担当	鈴木 伸司 (みゆき)

～～～ 大会実行委員 ～～～

実行委員長	(NPO) 藤沢市私立幼稚園協会	会長	池田 清
実行副委員長	茅ヶ崎市私立幼稚園協会	会長	磯西 真理子
	湘央地区私立幼稚園協会	会長	白川 敦
	小田原私立幼稚園協会	会長	島田 美緒
実行委員	(NPO) 藤沢市私立幼稚園協会	総務部長	秦野 悦子
	同	財務部長	小林 俊
	同	研究部長	猿渡 智香子
	茅ヶ崎市私立幼稚園協会	総務部長	杉崎 直人
	同	財務部長	村山 雄一
	同	研究部長	鈴木 由香里
	湘央地区私立幼稚園協会	総務部長	難波 俊夫
	同	財務部長	雑賀 定樹
	同	研究部長	三浦 深雪
	小田原私立幼稚園協会	総務部長	簾内 明子
	同	財務部長	横山 由美子
	同	研究部長	小室 久仁子

オンライン研修 レポート提出方法（１）

- 研修後、参加教員様にレポート回答依頼メールが届きます。

※メールは参加教員様のゆたかなまナビに設定したメールアドレス宛に届きます。

メールアドレスを設定されていない職員様は以下のどちらかで対応ください。

- 勤務圏の通知先メールアドレスに届いたメールから回答いただくか、もしくは次ページの方法で回答ください。
- ゆたかなまナビに職員番号でログインしてマイページから回答ください。

研修のレポートをご提出ください

2020/03/31 (木) 15:00

※本メールは、自動的に配信しています。

幼稚園ナビ事務局です。

以下のURLにアクセスして、研修のレポートをご提出ください。

* 幼稚園ナビサポート事務局 提出期限：2020/03/31 00:00

https://port.yubm.jp/submit/AbsR/YkkR3aapUjBN_R5GA/

レポートについてのご質問等は、各研修会のお問い合わせ先にご連絡ください。
(幼稚園ナビ事務局では回答できない場合がございます。)

機構標準形式のレポート (回答していただく内容)

オンライン研修会 [6/25] 研修報告書

以下の表について、簡潔にまとめて記述してください。

1. 本研修を受講して学んだことについて
2. 本研修を受講して、今後の保育実践に活かしたいことについて
3. WEB研修についてのご感想・ご感想
- 回答

**レポート回答は
ログイン＞研修履歴からも
回答できます
(メール受信できなかった場合)**

[illegible]

レポート回答期限までしか
回答できませんので
ご注意ください

オンライン研修 レポート提出方法（２）

① 設置者管理画面にログインして、研修ボタンをクリック



② 終了タブを選択し該当の研修の横にある「申込者」ボタンをクリック



③ 研修に参加された職員様の「詳細」ボタンをクリック

選択	状況	職種	氏名	生年月日	講義・分科会等の申込	出席	
☐	申込済	園長	いわざき すすも	1999/09/09	第1回学校評価幼児教育アドバイザー育成講座 (申込済)		詳細 その他

④ レポートの「提出する」ボタンからレポート提出できます。

（一社）北九州市私立幼稚園連盟開催 【LIVE配信受講】令和2年度 教師研修大会
申込詳細

・ レポート提出があります。レポート（全分科会共通）をご提出ください